

【 会員投稿 】

川柳創り(その後)

川柳創駄郎

その後も川柳創りは続けています。前にも書きましたが、俳句には季語があり、川柳には季語はなく時の出来事を時事川柳として書いている事が多い様です。新聞紙上に記載されている川柳は出来事をうまくキャッチしています。季語はありませんが川柳は旬とゆうものが感じられます。旬(出来事)を敏感に感じ取り川柳創りに励む人達が多い様です。

川柳君はもともと鈍人なので、旬に関係ないダジャレ川柳を創ってみました。ダジャレを漢字で駄洒落(つまらないしゃれ。まずいしゃれ)と書きます。川柳君は名前の駄が同じなので喜んでいようです。

「妻の胸南を見ればチチブサン」(秩父山系)、山脈の遠景は姿を変えず、木々が四季を通して色合を楽しませてくれます。

「歳重ね妻のお山は形変え」「ウォーキング足が痛いよアカギ(レ)サン」(赤城山)、アカギレ、シモヤケ、ヒビ等今の人達は「あの山は俺は知らねえシラネサン」(白根山)「合コンに今日も出掛けるアサマシイ」(浅間山)、(注)アサマシイ→浅ましい(意外である。あまりのことにあきれる。なさけない。みじめである。見苦しい等の意味があります)。やはり合コンに出掛けるのには歳をとった様です。

次は四字熟語で創ってみました。

「我が家では順風満帆とはいかず」「四面楚歌子供に孫も妻までも」主人(亭主)の権限がなくなったと言われていました。「関白(亭主)を虎視眈眈と狙ってる」。

川柳君は幼少の頃おくて(晩生)だった様です。歩くのは2歳になってから、しゃべりは3歳になってからだそうです。母は心配して近所の人達に聞いたところ、晩生は将来が楽しみだと言われ、心配する事はないと、「歳重ね大器晩成今だ出ず」「値上りで青息吐息の日々暮し」

「願い事平穩無事の唯ひとつ」。

近頃いやな出来事が多いですね。「捏造や拉致虐待と漢字知る」漢字を覚える事は良いのですが、楽しくなる出来事で知って行きたいと願います。

「少子化に虐待事故と拍車掛け」少子化、虐待、拉致等、国としても解決の先が見えません。

食品偽装も捏造の一種でしょう。青少年の犯罪の一因は対話の欠如と言う人もいます。

「対話なし親はパソコン子はゲーム」これでは話をする時間もありません。

〇〇党員が増えている様です。「党員が増えて喜ぶ蟹工船」蟹工船→小林多喜二著「蟹工船」のこと。小説「蟹工船」を読んだ人達が感銘を受けて〇〇党に入党することです。

終りはかたい川柳でした。旬ではありませんが、時事川柳も創ってみました。(善か善か)。

(注)善(よ)か→「よい」の九州方言、したがって書き終って「よいよい」となります。

川柳君的には(善か余暇)、余裕があつて良しとなります。

川柳君の日頃の実態は「メモをとりメモを忘れる日和かな」そんなところでしょう。

【 ボランティア活動 】 ご協力有難うございました。

- | | | |
|----------------|----------|-------|
| ① 会社前道路金木犀の剪定 | 7月19日 | 24名参加 |
| ② ねふた運行 | 8月14、15日 | 17名参加 |
| ③ ぴっころ作業所の作業応援 | 9月8日～10日 | 10名参加 |

なお、次回は11月に1人暮らし老人宅の枝下ろしと除草作業が実施されます。

多数の方の参加をお願いします。

<菱の実事務局>